

第1 共同募金運動の実施

1.運動実施の総括

- (1) わが国では、欧米先進国にも例がない急速な少子高齢化・人口減少化社会を迎えている。このため、社会全体で子育てを支える仕組みの整備をはじめ、人々が助け合い、支え合っていく社会づくりが求められている。これまでのように、公的な社会福祉制度の充実を求めるだけでなく、社会福祉分野においても、NPO やボランティア団体の活動に見られるように、住民自らが主体となって多様な社会福祉の課題に取り組んでいく必要性が増し、変革期を迎えているところである。
- (2) また、共同募金に対しては、地域福祉推進活動の中心的役割を担う社会福祉協議会やボランティア団体・NPO 団体等が行う住民参加による幅広い小地域福祉活動に対する一層の支援が期待されている。
- (3) 昭和 22 年に始まり、73 年目を迎えた共同募金運動は、10 月から 3 月までの6か月間、さらに、共同募金運動の一環でもある歳末たすけあい運動も 12 月 1 日から 12 月 31 日まで実施した。多くのボランティアや県民の温かいご支援をいただき、次の実績を収めることができた。

(単位:円)

募金種別	令和元年度	平成 30 年度	増減	対前年比 (%)
1. 一般募金(赤い羽根募金)	236,742,633	238,045,880	△1,303,247	△0.5%
2. 地域歳末たすけあい募金	40,514,076	41,579,321	△1,065,245	△2.6%
3. NHK 歳末たすけあい募金	8,700,628	7,494,633	1,205,995	16.1%
合計	285,957,337	287,119,834	△1,162,497	△0.4%

2.赤い羽根共同募金の目標額の設定及び配分

(1) 目標額の設定

令和元年度の共同募金目標額は、地域が自主的に設定する地域目標額と社会福祉施設、作業所、全県域団体、社会福祉協議会及びNPO・ボランティアなどから提出された要望を基に本会が設定する広域目標額の双方を合算する方法を採用している。

なお、この目標額の決定については、配分委員会での審査を経て、令和元年 7 月 19 日開催の理事会及び 7 月 30 日開催の評議員会で審議・承認された。

(2) 配分額

配分額は、令和 2 年 3 月 2 日開催の配分委員会の審議を経て、3 月の理事会及び評議員会で次のとおり審議、承認された。

なお、詳細については、「令和元年度(2 年度事業用)共同募金配分調書」を参照。

●団体・施設・事業別総括配分内容

(1) 社会福祉協議会(20件)	133,062,633円
(2) 社会福祉施設(6件)	5,880,000円
(3) 障害福祉サービス事業所(24件)	17,480,000円
(4) 児童養護施設就職等支度支援事業(9施設)	10,500,000円
(5) 社会福祉団体(20件)	5,080,000円
(6) ボランティア・NPO 活動支援事業(公募分)	2,700,000円
(7) 『地域から孤立をなくそう』特別事業	2,000,000円
(8) 災害見舞金	2,060,000円
(9) 災害等準備金	8,500,000円
(10) 特別加算額(地域配分)	2,000,000円
(11) 運動推進費	47,480,000円
合計	236,742,633円

3.地域歳末たすけあいの実施

令和元年12月1日から12月31日まで、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに15の支会が実施した結果、40,514,076円の実績を収めた。

配分については、「令和元年度歳末たすけあい運動実施要項」に基づき、地域の実情や要援護世帯等のニーズに即した在宅福祉サービス等への支援を行った。

なお、詳細については、資料3・4参照。

4.NHK 歳末たすけあいの実施

令和元年12月1日から12月25日まで、NHK及びNHK厚生文化事業団と共催し、第69回NHK歳末たすけあいを実施した結果、8,700,628円の実績を収めた。

配分については、令和元年7月3日開催の配分委員会で配分方針を定め、要保護児童関係を中心に支援を行った。

なお、詳細については、資料5参照。

第2 会務の運営

1.理事会の開催

(1) 期日 令和元年5月24日(金)

場所 県総合社会福祉会館 4F 円卓会議室

審議事項

第1号議案 平成30年度事業報告の件

第2号議案 平成30年度収支決算の件

第3号議案 評議員の補欠選任候補の件

-
- 第 4 号議案 次期理事・監事候補の件
 - 第 5 号議案 配分委員の選任の件
 - 第 6 号議案 評議員会開催の件

報告事項

- (1) 社会福祉充実残額について

- (2) 期日 令和元年 6 月 11 日(火)

場所 県総合社会福祉会館 4F 円卓会議室

審議事項

- 第 1 号議案 会長・副会長の選任の件
- 第 2 号議案 常務理事の選定の件
- 第 3 号議案 評議員選任・解任委員会委員の補欠選任の件
- 第 4 号議案 評議員選任・解任委員会の開催の件

- (3) 期日 令和元年 7 月 19 日(金)

場所 県総合社会福祉会館 4F 円卓会議室

審議事項

- 第 1 号議案 令和元年度(令和 2 年度事業用)の共同募金配分計画・目標額設定の件
- 第 2 号議案 平成元年度赤い羽根共同募金「ボランティア・NPO 活動支援事業」配分の件
- 第 3 号議案 『地域から孤立をなくそう』特別事業配分の件
- 第 4 号議案 令和元年度NHK歳末たすけあい配分の件
- 第 5 号議案 令和元年度収支補正予算の件
- 第 6 号議案 評議員の補欠選任候補の件
- 第 7 号議案 理事の補欠選任候補の件
- 第 8 号議案 配分委員の補欠選任の件
- 第 9 号議案 評議員会の開催の件
- 第 10 号議案 評議員選任・解任委員会の開催の件
- 第 11 号議案 平成 30 年 7 月愛媛県豪雨災害に係る災害ボランティアNPOサポート募金を財源とした助成事業の件

報告事項

- (1) 会長及び常務理事の職務執行状況について

- (4) 決議の省略による開催

提案日 令和 2 年 3 月 10 日(火)

決議があったものとみなされた日 令和 2 年 3 月 17 日(火)

審議事項

- 第 1 号議案 令和元年度(令和 2 年度事業用)共同募金配分の件
-

-
- 第 2 号議案 『地域から孤立をなくそう』特別事業配分の件
 - 第 3 号議案 令和元年度収支補正予算の件
 - 第 4 号議案 令和 2 年度事業計画の件
 - 第 5 号議案 令和 2 年度収支予算の件
 - 第 6 号議案 令和 2 年度一般募金広域目標額設定の件
 - 第 7 号議案 社会福祉法人愛媛県共同募金会 職員就業規則改正の件
 - 第 8 号議案 社会福祉法人愛媛県共同募金会 臨時職員に関する規程改正の件
 - 第 9 号議案 評議員会の決議の省略の件

報告事項

- (1) 会長及び常務理事の職務執行状況について

2. 評議員会の開催

- (1) 期日 令和元年 6 月 11 日(火)

場所 県総合社会福祉会館 2F 多目的ホール

審議事項

- 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告の件
- 第 2 号議案 平成 30 年度収支決算の件
- 第 3 号議案 次期理事・監事の選任の件
- 第 4 号議案 配分委員の選任の件

- (2) 期日 令和元年 7 月 30 日(月)

場所 県総合社会福祉会館 3F 研修室

審議事項

- 第 1 号議案 令和元年度(令和 2 年度事業用)の共同募金配分計画・目標額設定の件
- 第 2 号議案 平成元年度赤い羽根共同募金「ボランティア・NPO 活動支援事業」配分の件
- 第 3 号議案 『地域から孤立をなくそう』特別事業配分の件
- 第 4 号議案 令和元年度NHK歳末たすけあい配分の件
- 第 5 号議案 令和元年度収支補正予算の件
- 第 6 号議案 理事の補欠選任候補の件
- 第 7 号議案 配分委員の補欠選任の件
- 第 8 号議案 平成 30 年 7 月愛媛県豪雨災害に係る災害ボランティアNPOサポート募金を財源とした助成事業の件

- (3) 決議の省略による開催

提案日 令和 2 年 3 月 18 日(水)

決議があったものとみなされた日 令和 2 年 3 月 25 日(水)

審議事項

- 第 1 号議案 令和元年度(令和 2 年度事業用)共同募金配分の件
- 第 2 号議案 『地域から孤立をなくそう』特別事業配分の件
- 第 3 号議案 令和元年度収支補正予算の件
- 第 4 号議案 令和 2 年度事業計画の件
- 第 5 号議案 令和 2 年度収支予算の件
- 第 6 号議案 令和 2 年度一般募金広域目標額設定の件
- 第 7 号議案 社会福祉法人愛媛県共同募金会 職員就業規則改正の件
- 第 8 号議案 社会福祉法人愛媛県共同募金会 臨時職員に関する規程改正の件

3.正副会長会の開催

(1) 期日 令和元年 5 月 8 日(水)

場所 愛媛県共同募金会 役員室

審議事項

- 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告の件
- 第 2 号議案 平成 30 年度収支決算の件
- 第 3 号議案 次期理事・監事候補者の件
- 第 4 号議案 配分委員選任の件
- 第 5 号議案 評議員の補欠選任候補の件

報告事項

(1) 社会福祉充実残額について

(2) 期日 令和元年 7 月 8 日(月)

場所 愛媛県共同募金会 役員室

審議事項

- 第 1 号議案 令和元年度(令和 2 年度事業用)の共同募金配分計画・目標額設定の件
 - 第 2 号議案 平成元年度赤い羽根共同募金「ボランティア・NPO 活動支援事業」配分の件
 - 第 3 号議案 『地域から孤立をなくそう』特別事業配分の件
 - 第 4 号議案 令和元年度NHK歳末たすけあい配分の件
 - 第 5 号議案 令和元年度収支補正予算の件
 - 第 6 号議案 評議員の補欠選任候補の件
 - 第 7 号議案 理事の補欠選任候補の件
 - 第 8 号議案 配分委員の補欠選任の件
 - 第 9 号議案 評議員会の開催の件
 - 第 10 号議案 中央共同募金会会長表彰被表彰者推薦の件
 - 第 11 号議案 愛媛県共同募金会会長表彰被表彰者選定の件
-

第 12 号議案 平成30年7月愛媛県豪雨災害に係る災害ボランティア NPO サポート
募金を財源とした助成事業の件

(3) 期日 令和元年 11 月 20 日(水)

場所 愛媛県共同募金会 役員室

審議事項

第 1 号議案 社会福祉法人から共同募金への寄付金について

(4) 期日 令和 2 年 2 月 19 日・26 日(水)

場所 愛媛県共同募金会 役員室

審議事項

第 1 号議案 「地域の社会福祉団体」配分に関する検討について

(5) 期日 令和 2 年 3 月 3 日(火)

場所 県総合社会福祉会館 役員室

審議事項

第 1 号議案 令和元年度(令和 2 年度事業用)共同募金配分の件

第 2 号議案 『地域から孤立をなくそう』特別事業配分の件

第 3 号議案 令和元年度収支補正予算の件

第 4 号議案 令和 2 年度事業計画の件

第 5 号議案 令和 2 年度収支予算の件

第 6 号議案 令和 2 年度一般募金広域目標額設定の件

第 7 号議案 社会福祉法人愛媛県共同募金会 職員就業規則改正の件

第 8 号議案 社会福祉法人愛媛県共同募金会 臨時職員に関する規程改正の件

4.監事会の開催

(1) 期日 令和元年 4 月 25 日(木)

場所 県総合社会福祉会館 円卓会議室

監査事項

平成 30 年度事業執行並びに財産管理状況

5.評議員選任解任委員会の開催

(1) 期日 令和元年 6 月 25 日(火)

場所 県総合社会福祉会館 円卓会議室

審議事項

第 1 号議案 評議員の補欠選任の件

(2) 期日 令和元年9月10日(火)

場所 県総合社会福祉会館 円卓会議室

審議事項

第1号議案 評議員の補欠選任の件

第3 自発的に寄付できる募金活動の推進

共同募金運動を、寄付者の理解と協力のもとに自発的な寄付を促進するため、「寄付することも、募金活動を行うこともボランティア活動の一環」と位置づけ、社会福祉関係者の意識高揚と県民への広報・啓発に努めた。

1.戸別募金

- (1) マンション入居者の町内会・自治会加入率の低下が、戸別募金減少の一つの要因となっているため、県内のマンション販売・建設業者を訪問し、入居者への加入促進を依頼した。
- (2) 募金方法の主体となるボランティアによる戸別募金を推進するほか、住民の自発的な寄付を促進する封筒募金の啓発に努めた。
- (3) 寄付者への共同募金の必要性や使いみちの理解を促進するため、県下全世帯を対象に配分・募金チラシを479,000枚配布した。

2.法人(企業)募金・職域募金

- (1) この運動に対する企業の理解と参加を促進するため、「企業向パンフレット」3,800部と、「法人・大口募金協力依頼状」21,800枚を送付し、募金協力を依頼した。
- (2) 共同募金に関心のある企業のトップに直接寄付を働きかけたことにより、数社から多額の寄付があり、本会への理解が深まった。
- (3) 法人税に対する全額損金算入の税制優遇措置について商工団体等を通じてPRした。
- (4) 社会貢献活動に熱心に取り組まれている愛媛銀行の協力を得て、県内全店舗に募金箱を設置し、県民の募金意識の高揚に努めた。
- (5) ガソリンスタンド、コンビニ、ホテルなどへの「赤い羽根協力店」の働きかけを行った。
- (6) 企業をはじめ団体、行政機関に働きかけて、職域募金の拡大を図った。

3.街頭募金・イベント募金

- (1) 愛媛経済同友会などの経済団体が主催する会合に参加し、共同募金への理解を深めるためのPRを行うとともに募金活動を行い、募金の獲得に大きな成果があった。
 - (2) 街頭募金活動を促進するほか、運動会、福祉まつり、文化祭などを利用して地域の実情にあった街頭募金を進めた。
 - (3) バザー、フリーマーケット、カラオケ大会等のイベントを利用するなどして独自の興行募金に努めた。
-

4. 学校募金

- (1) 福祉教育を通じて理解を得るため、児童・生徒・教師のそれぞれに「寄付することも募金活動を行うこともボランティア活動」であることを啓発するため、パンフレット、チラシ、手引等を活用した。
- (2) 小学生を対象として、共同募金への関心を高めるため、児童自らが組み立てる組立式募金箱（紙製）11,000 個を配布した。この募金箱に児童自ら寄付し、それを学校に持ちより学校募金として寄付をした。

5. 広報機能を兼ね備えた赤い羽根自動販売機の設置・促進

大手飲料メーカーが協賛した赤い羽根自動販売機を設置・促進するため、県内の民間企業・団体へ働きかけを行うとともに、愛媛銀行の協力を得て県内店舗に設置していた自動販売機を赤い羽根仕様に変更し、本県の設置台数が大幅に増加した。

- (1) 設置台数 79台(令和2年3月末現在)
- (2) 協賛メーカー 8社
アサヒ飲料、アペックス、伊藤園、サントリー、四国コカコーラボトリング、ネオス、ヤクルト、ダイドードリンコ。

エリア	市町名	設置年月日	設置先または契約先	台数
東予	今治市	20年 1月	伯方造船(株)	1台
		21年 6月	(福)今治市社会福祉協議会	1台
		28年 1月	(株)愛媛銀行 今治支店	1台
		28年 1月	(株)愛媛銀行 旭町支店	1台
		28年 1月	(株)愛媛銀行 波止浜支店	1台
		29年 3月	(株)愛媛銀行 常磐町支店	1台
	新居浜市	28年 1月	(株)愛媛銀行 新居浜支店	1台
		28年 1月	(株)愛媛銀行 泉川支店	1台
	西条市	25年 1月	(福)いしづち会 西条福祉園	1台
				1台
		28年 1月	(株)愛媛銀行 壬生川支店	1台
		28年 1月	(株)愛媛銀行 氷見支店	1台
	28年 1月	(株)愛媛銀行 西条支店	2台	
四国中央市	28年 1月	(株)愛媛銀行 三島支店	1台	
	28年 1月	(株)愛媛銀行 土居支店	1台	
中予	松山市	19年 2月	愛媛エフ・エー・ゼット(株) アイテムえひめ	2台
		19年 4月	愛媛県総合社会福祉会館	2台
		19年 5月	(福)松山市社会福祉協議会	1台
		19年10月	愛媛県国民健康保険団体連合会	1台
		19年10月	(株)愛媛銀行グラウンド	2台
		19年10月	松山中央運動公園	1台
		19年12月	(株)愛媛銀行道後寮	1台
		20年 5月	(株)愛媛新聞社	1台

エリア	市町名	設置年月日	設置先または契約先	台数
中予	松山市	24年 1月	(株)伊予銀行 一万支店	1台
		24年 5月	(福)日野学園	1台
		25年11月	愛媛医療生活協同組合城北診療所	1台
		26年11月	(福)鷺月福祉会 せんの郷 ねんりん	1台
		28年 1月	(株)愛媛銀行 本町支店	1台
		28年 3月	ダイワロイヤル(株)ダイワロイネットホテル松山	1台
		28年 4月	愛媛銀行事務センター	1台
		30年10月	(福)名石会 ほしのおか	1台
		元年 4月	(社)愛媛県医師会	1台
		元年 6月	二神組 クレアホームズ岩崎Ⅱ	1台
	伊予市	24年 8月	空と大地	1台
		25年10月	愛媛県医療生活協同組合伊予診療所	1台
		25年11月	高齢者福祉施設ごしきの家	1台
	東温市	20年 8月	(福)愛媛県社会福祉事業団 しげのぶ清愛園	1台
		21年 3月	(福)愛媛県社会福祉事業団 しげのぶ清流園	1台
	松前町	20年 4月	(株)フジ エミフル松前	1台
		29年 7月		1台
	砥部町	25年 3月	えひめ中央農業協同組合 宮内支所	1台
	南予	内子町	20年 3月	みどり苑
20年 7月			内子町役場分庁	1台
25年 1月			キドフーズ(株)	1台
大洲市		20年 4月	(株)尾花 一期一会	1台
		20年 6月	(福)大洲市社会福祉協議会	1台
		25年 1月	(福)大洲育成園	1台
		26年 2月	(株)サンフーズ	1台
八幡浜市		20年 2月	(福)ことぶき会 ことぶき荘	1台
		22年 8月	あけぼの荘	1台
		25年12月	神山地区公民館	1台
		26年09月	湯島の里	1台
西予市		19年12月	西予市役所本庁	1台
		19年12月	西予市役所明浜支所	1台
		19年12月	西予市役所野村支所	1台
		19年12月	三共建設(株)	1台
		19年12月	百姓百品(株)	1台
		19年12月	道の駅 きなはいや	1台
		20年 3月	(福)西予市社会福祉協議会 宇和支部	1台
		20年12月	(福)西予総合福祉会 松葉寮	1台
宇和島市		19年 9月	JR 宇和島駅	1台
		20年 3月	南レク(株) 津島プレーランドテニス場	1台
		20年 3月	南レク(株) 南楽園前	1台
		20年 9月	(福)宇和島市社会福祉協議会	1台
	23年 6月	1台		
	24年 6月	1台		

エリア	市町名	設置年月日	設置先または契約先	台数
南予	宇和島市	22年 3月	(福)宇和島済美保育園	1台
		25年 1月	NPO 法人 さかえ	1台
		28年 2月	ゆいの里 CANS	1台
		28年 2月	(有)近藤会館 津島やすらぎの里	2台
		2年 1月	(福)宇和島市社会福祉協議会	1台
	鬼北町	20年 3月	鬼北町役場	1台
	愛南町	20年 3月	南レク(株) 城辺公園野球場駐車場	1台
		28年 9月	(福)愛南町社会福祉協議会	1台
			合 計	79台

6.赤い羽根共同募金 募金百貨店プロジェクト

赤い羽根共同募金運動の一層の充実・強化を図るため、企業等との連携・協力を得て、寄付金付きの商品・企画を募集する「赤い羽根共同募金 募金百貨店プロジェクト」を実施した。

提携先	所在地	内 容
株式会社 レデイ薬局	松山市	・対象飲料商品 1 本につき 2 円の寄付
ていれぎの湯	松山市	・対象商品である回数券一冊につき 100 円を寄付

7.愛媛の赤い羽根サポーター宣言

愛媛県内のプロスポーツ・芸術・文化団体または愛媛を代表する著名な方々が「赤い羽根サポーター」として宣言をし、自発的な募金活動を通じて赤い羽根共同募金への関心を高めるとともに、県民の皆様の共感を得ながら広く啓蒙活動を進め、より自発的な寄付意識の醸成を目指す。

宣言団体 愛媛 FC、愛媛マンダリンパイレーツ、坊っちゃん劇場、愛媛オレンジバイキングス

第4 メリハリの効いた配分の推進

1.配分委員会の開催

適切な事業に配分を行う為に、下記のとおり年 2 回配分委員会を開催した。

(1) 期日 令和元年 7 月 3 日(水)

場所 県総合社会福祉会館 4F 円卓会議室

審議事項

第 1 号議案 令和元年度中央競馬馬主社会福祉財団助成金推薦の件

第 2 号議案 令和元年度(令和 2 年度事業用)の共同募金配分計画・目標額設定の件

第 3 号議案 令和元年度赤い羽根共同募金「ボランティア・NPO 活動支援事業」配分の件

- 第 4 号議案 『地域から孤立をなくそう』特別事業配分の件
第 5 号議案 令和元年度NHK歳末たすけあい配分の件

(2) 期日 令和 2 年 3 月 2 日(月)

場所 県総合社会福祉会館 4F 円卓会議室

審議事項

- 第 1 号議案 令和元年度(2 年度事業用)共同募金配分の件
第 2 号議案 『地域から孤立をなくそう』特別事業配分の件

2.先駆的・開拓的な地域福祉活動を行うボランティア・NPO団体の発掘、支援・育成

「ボランティア・NPO活動支援事業」の要綱に基づき募集を行い、2 件 400,000 円を助成した。

【1次募集分扱い】団体・グループ名	所在地	事業名	金額
愛媛県手話通訳士協会	松山市	司法関係(裁判、警察、検察等)など専門的なことを担う手話通訳士の活動支援	100,000 円
愛媛県障害者 フライングディスク協会	松山市	第 1 回バリアフリーディスクゴルフ大会	300,000 円
小 計		2 件	400,000 円

第5 広報活動の充実

1.令和元年度全国統一スローガンの設定

広くアピールするため、全国統一スローガンが中央共同募金会において設定された。

全国統一スローガン <じぶんの町を良くするしくみ>

2.広報宣伝行事の実施

(1) 令和元年度共同募金配分金交付式

期日 平成 31 年 4 月 9 日(火)

場所 県総合社会福祉会館 2F 多目的ホール

(2) 赤い羽根セレモニーの実施

期日 令和元年 10 月 1 日(火)

場所 松山市湊町 5 丁目 いよてつ高島屋前

① 赤い羽根伝達式

全日空の協賛を得て、「赤い羽根空の第一便」の伝達式を行い、厚生労働大臣及び中央共同募金会長のメッセージを伝達した。

② 街頭募金

共同募金運動開始の日に、松山市支会との共催により、知事、市長、議会関係者、客室乗務員、松山マドンナ大使及び募金ボランティア等が参加して、街頭で募金の呼びかけ、運動開始の気運を高めた。

(3) 赤い羽根着用運動の推進

10月1日運動開始と同時に各テレビ局アナウンサー等に対して、赤い羽根の着用を推進した。

(4) 赤い羽根電光掲示板による広報

松山市駅前赤い羽根共同募金(令和元年10月1日～12月31日)メッセージを流し、共同募金運動への協力を呼びかけた。

3.報道機関に対する広報活動の推進

(1) テレビ・ラジオPR用フィルム・テープを提供し、取材や放映等の協力依頼を行った。

(2) NHK、民間放送局、新聞社に対して募金・配分の情報や資料を提供し、広報活動の推進を図った。

4.チラシ・広報誌の活用

県下全世帯向けに、募金・配分結果を掲載したチラシを作成し配布するほか、県・市町社協及び受配施設・団体が発行する広報誌等への掲載協力を依頼した。

5.使途明示等の徹底

(1) 「共同募金配分金使途明示マニュアル」を活用し、使途明示を徹底した。

(2) 車両用受配シールの活用を図った。

6.若い世代への理解と参加促進

(1) 小・中・高等学校及び専門学校・大学生等の若い世代に対する理解と参加を促進するため、ビデオの貸出及び「青少年向けパンフレット」を配布した。

(2) 社会福祉と関係のある専門学校、大学生等に対し、募金・配分の広報資料を提供するとともに街頭募金への参加協力を呼びかけた。

7.税制の優遇措置の周知

個人に係る所得税、住民税の寄付金控除及び法人に係る法人税の全額損金算入制度の優遇措置の周知に努めた。

8.各種チャリティ行事に対する共催及び後援

各種チャリティ行事に対する共催、後援及び協賛を実施した。

第6 支会分会の従事者養成・組織育成

1.愛媛県共同募金会市町支会関係者連絡協議会

日時 令和元年6月27日(木)

場所 愛媛県総合社会福祉会館 3F 研修室

協議事項

- (1) 令和元年度(令和2年度事業)の共同募金配分計画・目標額設定(案)について
- (2) 令和元年度赤い羽根共同募金「ボランティア・NPO活動支援事業」配分について
- (3) 共同募金の仕組み/税制について

基調講演

- (1) 「地域住民に向けた説明会・対話現場で活かせるファシリテーション技法について」
ライフスタイル協同組合 代表理事 船崎 美智子
- (2) 共同募金地域助成リノベーション大作戦
共同募金の強みを活かした広報戦略
特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター 代表 古賀 桃子

2.赤い羽根えひめファンドレイジング円卓会議

日時 令和元年6月18日(火)

場所 愛媛県総合社会福祉会館 4F 円卓会議室

役職員が共同募金運動目的達成の為の諸課題を、役職員が外部専門家や先進地共同募金会の視点・意見を取り入れた上でファンドレイジングの考え方・技法を習得し、着手すべきアクションプランの優先順位付けを行うために円卓会議を実施した。

所属	職名	氏名
社会福祉法人 福井県共同募金会	主任	鷹尾 大英
認定特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会	コミュニケーション アドバイザー	三島 理恵
株式会社 バリューブックス	取締役	鳥居 希
TMコミュニケーションサービス 株式会社	代表取締役社長	三井 恒雄
合同会社めぐる	代表	木村 真樹

3. 愛媛県共同募金会・日本赤十字社愛媛県支部情報共有会議

日時 令和元年11月5日(火)

場所 愛媛県総合社会福祉会館 4F 円卓会議室

取り巻く環境や抱える諸課題に共通項が多い両団体が、将来に渡って持続可能な運動・組織対とすべく忌憚のない意見交換を行う会議を実施した。

第7 顕彰、感謝等の実施

顕彰規程に基づき、次のとおり表彰した。

1. 愛媛県共同募金会表彰規程によるもの

(1) 奉仕功労者、優良地区・団体の表彰 <第67回 愛媛県社会福祉大会の席上表彰>

- ① 奉仕功労者 33名
- ② 優良地区・団体 4団体

(2) 寄付者・奉仕功労者に対する感謝状の贈呈

- ① 3万円以上の寄付者 137名
- ② 奉仕功労者 53名

2. 中央共同募金会顕彰規程によるもの

(1) 奉仕功労者、優良地区・団体の表彰 <令和元年度 全国社会福祉大会の席上表彰>

- ① 奉仕功労者 2名
- ② 優良地区・団体 1団体
- ③ 従事功労者 1名

(2) 寄付者に対する感謝状(楯)の贈呈

- ① 個人(20万円以上100万円未満) 1名
 - ② 法人・団体(60万円以上300万円未満) 4団体
 - ・星企画株式会社
 - ・日本食研ホールディングス 株式会社
 - ・株式会社伊予銀行
 - ・株式会社レデイ薬局
-

3. 厚生労働大臣表彰及び感謝状の贈呈

(1) 共同募金運動奉仕功労者・団体

- ①奉仕功労者 2名
- ②奉仕功労団体 該当なし

(2) 厚生労働大臣感謝状

- ①個人(100万円以上) 該当なし
- ②法人・団体(300万円以上) 該当なし

4. 紺綬褒章

- (1)個人(500万円以上) 該当なし
- (2)法人・団体(1,000万円以上) 該当なし

第8 共同募金以外の寄付金(特定・指定寄付金)に係る税制上の優遇措置制度の適正な運用

本制度は、所得税及び法人税に係る優遇措置が厚生省通知社庶第105号(昭和45年5月22日)並びに住民税に係る優遇措置が厚生省通知社庶第151号(平成元年8月4日)に基づき取扱いを行っているが、今年度は該当案件がなかった。

第9 各種助成事業への協力

1. 公益財団法人 伊予銀行社会福祉基金への助成事業の推薦

伊予銀行社会福祉基金への助成要望について、審査・推薦業務を行い、同基金の理事会で決定し、次のとおり現物贈呈された。

施設種別	名称	所在地	贈呈品
障害福祉サービス事業所	小規模事業所 木麦の家 木麦の家	松山市	真空パック器3台
	NPO法人 ほっとねっと 口笛	松山市	食器洗浄乾燥機2台
	特定非営利活動法人 フェロー・ジョブステーション フェローLabo	松山市	プリンタ1台
	NPO法人 たんぽぽ たんぽぽスマイル	宇和島市	畝立機1台
	特定非営利活動法人 ベルクリン ハートフル	東温市	プリンタ1台

施設種別	名 称	所在地	贈 呈 品
障害福祉サービス事業所	特定非営利活動法人 うちこ工房 うちこ工房	内子町	自動梱包機 1 台
	NPO 法人 ひだまり工房 みもご	鬼北町	自走斜面草刈機 1 台

2. 公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団への助成事業の推薦

中央競馬馬主社会福祉財団への助成要望のため、令和元年7月3日に配分委員会を開催し審査・推薦業務を行い、8月27日付で4件5,050,000円の助成金が決定された。

法人名	施設種別	施設名(所在地)	事業名	金額
社会福祉法人 三善会	障害者支援施設	大洲ホーム (大洲市)	車両整備	1,940,000 円
社会福祉法人 みのり保育園	保育所	みのり保育園 (西条市)	食器洗浄機整備	1,070,000 円
社会福祉法人 宇和島福祉協会	障害者支援施設	フレンドホーム (松野町)	車両整備	1,070,000 円
社会福祉法人 西予総合福祉会	保育所	うわまち未来こども園 (西予市)	遊具整備	970,000 円
合 計			(4 件)	5,050,000 円

第10 災害たすけあいの実施

平成30年7月愛媛県豪雨災害に伴い、平成30年7月11日から令和2年6月30日まで災害たすけあい義援金を募集しており、今年度は本会宛に次の金額が寄せられた。

義 援 金 名	集 計 期 間	件 数	金 額
愛媛県豪雨災害義援金	H31.4.1 ~ R2.3.31	140	10,502,850 円

※参考 H30.7.11~R2.3.31 3,105件 549,451,292円

第11 赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」(受託分)助成の実施

中央共同募金会が実施する赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」について、平成30年7月豪雨災害の災害救助法が適用された市町に対し助成を行った。

社会福祉協議会名	事 業 名	配分金額
今治市 社会福祉協議会	円滑な災害 VC 運営のため拠点整備事業	500,000
	被災者への安心お届け事業	97,000
	ニーズに応じたボランティア力向上事業	43,000
	小 計	640,000

社会福祉協議会名	事業名	配分金額
宇和島市 社会福祉協議会	災害ボランティアセンター資機材等整備事業	1,450,000
	小計	1,450,000
八幡浜市 社会福祉協議会	地域支え合いセンター等業務必要備品購入事業	500,000
	赤い羽根共同募金運動・地域支え合いセンター 推進事業	180,000
	小計	680,000
大洲市 社会福祉協議会	災害ボランティア関連備品等整備事業	2,990,000
	小計	2,990,000
西予市 社会福祉協議会	被災エリアの日中働く子育て世代を対象とした「寝 る前ストレッチ」事業	109,000
	災害用機材整備事業	971,000
	小計	1,080,000
松野町 社会福祉協議会	災害用資材整備事業	560,000
	住民活動啓発事業	100,000
	小計	660,000
鬼北町 社会福祉協議会	災害支援活動車両整備事業	600,000
	小計	600,000
	合計	8,100,000